

会議結果のお知らせ

- 1 開催した会議の名称
令和5年度第1回佐伯市文化財保護審議会
- 2 開催日時
令和5年7月26日(水) 13時30分から15時30分まで
- 3 開催場所
所在地 佐伯市中村東町6番9号
会場名 佐伯教育市民ホール まな美 3F 第1市民活動室
- 4 出席者
丁田健太郎(会長)、小野英治(副会長)、矢野京市、岡崎税、山口勝久、戸田博康、
ト部辰美、濱田宗一郎、清家隆仁、木村義友、段上達雄、田中裕介
以上 審議会委員12名
丸山社会教育課長、鶴原総括主幹、梅田副主幹、福田副主幹
以上 事務局4名
- 5 公開、非公開の別
公開
- 6 傍聴人数
0人
- 7 議題及び結果
佐伯市指定文化財保存活用地域計画について
・事務局から、文化財保存活用地域計画の制度と「佐伯市文化財保存活用地域計画(素案)」の概要について説明し、質疑応答を行った。
・委員からの意見に基づき、一部の加筆・修正を行うこととした。
- 8 審議の内容
主な質疑応答・意見は以下のとおり。
佐伯市指定文化財保存活用地域計画について
・p32の佐伯城の曲輪構成に「本丸外曲輪」を追加する必要がある。p40の三の丸櫓門の説明は、「佐伯城の正門」ではなく「佐伯城三の丸の正門」が適切である。p44の小林九左衛門は、単に上級藩士ではなく、足軽から出世したことがわかる説明としてほしい。
→ご指摘のとおり修正する。
・現在の佐伯市の体制では、各振興局は歴史文化資源に関心を持っておらず、各公民館内にどんな資料があるかも知らない。以前は教育委員会の組織・職員が配置されていたが、今はない。振興局の職員が興味を示さなくては、歴史文化資源の保存はできないと思う。旧町村の歴史文化資源を誰が担当するのか。
→ご指摘のとおり、教育委員会組織は市町村合併後から段階的に本庁に集約した。本計画の実施にあたっては、振興局を含む関係課と連携して取り組んでいく内容としている。

- ・指定文化財だけでも200点を越えている。私たちも、広い佐伯市内のどこにどのような歴史文化資源があるのか把握しきれていない。
→本計画にもあるとおり、市内の歴史文化資源の把握調査の結果、相当数の資料をリスト化することができた。公開に適さないものもあるが、公民館所蔵資料については、リストを公開する計画である。
- ・鶴見には、歴史的に四国から移り住んだ人が多く、苗字に残っている。自分のルーツが他所の地域にあることを知ると、興味を持つ子供もいる。こういった四国との関わりや、落人伝説に関する内容も追加できると良いのではないかな。
- ・米水津も同様で、紀州・和歌山から流入してきた人が多い。蒲江も同様ではないかな。
→p67の歴史文化資源の特徴で、記述を追加したい。歴史に裏打ちされた自分のルーツを知ることで、関心が持たれ易くなるのではないかなと思う。
- ・p54の把握調査には、佐伯史談会が発行している佐伯史談は含まれているのか。過去に数多くの会員が様々な歴史文化資源に関する調査報告を行っている。
→現時点では、佐伯史談各号の掲載内容まではリスト化できておらず、含めていない。
- ・史談会掲載の歴史文化資源の情報把握について、今後の課題としておく必要はある。
- ・p79の説明にある奈良時代の宇目は、「宇目郷」ではなく行政単位としての「小野駅」と表記すべき。
→ご指摘のとおり修正する。

9 会議の資料名一覧

- ・令和5年度第1回佐伯市文化財保護審議会
- ・佐伯市文化財保存活用地域計画（素案）

10 問い合わせ先

担当課 佐伯市教育委員会 社会教育課 文化財係
電話番号 22-4234（直通）